



ドミニカ共和国…知ってミソ



 撮影場所: 配属先カリタスサンティアゴ本部 

- ・「Sopa de Miso」の異文化理解ができた瞬間。
- ・味噌汁は猫のスープではない事を、イラストで紹介しました。お椀にスペイン語で「FALSO（本当じゃない）」の一言を入れました。

※後日談

あるスタッフから「マリ～。イラストだけじゃ分からない！…味が。」と言われたので、味噌汁を作って食べて頂きました。Miso から広がる異文化交流。（味噌汁好評でした）

味噌汁 ≠ SOPA DE MISO

ドミニカ共和国に来て間もない頃に起きたカルチャーショック。

配属先のドミニカ人スタッフと活動計画を立てようとした時、スタッフが私の PC 画面の和食に興味を持ちました。

そこにはちょうど「味噌汁」が…。

「マリ、これは何？」との質問が。

味噌のスペイン語が分からず、そもそもドミニカ共和国に味噌は無い為、「Sopa de miso（味噌のスープ）」と説明したところ…「マリ（日本人）は猫を食べるの!？」と大騒ぎ。

私は「猫はスペイン語で Gato（ガトー）でしょ？なんで??」と状況が理解できず…。




事情を聞いたところ、ドミニカ共和国では猫を呼ぶときに「Miso, miso～（ミソ, ミソ～）」と呼ぶ習慣があるとの事Σ(・ω・)!!


辞書には載っていないドミニカ共和国ならではの言葉…「ドミニカエスパニョール」と出会った瞬間でもありました。


その後、慌てて味噌を説明した結果、写真にあるイラストが出来上がりました。


海外で活動していると実感した出来事でした。

隊員紹介

 隊次: 2016 年 2 次隊  長江 茉莉子 (ながえ まりこ)  職種: 青少年活動

 任地: ドミニカ共和国サンティアゴ

 配属先: 教育財団カリタスサンティアゴ

 活動内容: カリタスサンティアゴが運営する児童福祉施設「コメドール」で低所得者層の 3～11 歳の子ども達に図画工作や運動遊び等の活動を行い、情操教育支援をしています。